

市の花「はまぼう」を 卒業のはなむけに! 子どもたちの



「はまぼう」のコサージュ作りで
地域活動に貢献

宮地浦なかよしごループ
たけだ けいこ
代表 竹田 恵子 さん

~ Profile ~

新和町出身。新和町在住。平成 19 年に第 1 回の楊貴妃祭りが開催される際、楊貴妃人形を宮地浦地区の女性で作ったことをきっかけに手芸品の制作活動をスタートさせる。現在、宮地浦の女性 6 人ではまぼうのコサージュ等を作りイベントや夕やけ市・物産館等で販売している。



地域の女性が集まって…



平成 19 年に第 1 回の楊貴妃祭りが開催される際に、「楊貴妃の人形を制作したらどうか」という話が持ち上がりました。宮地浦地区の女性が集まって、公民館で楊貴妃人形の制作に取り組みましたが、その活動がとても楽しかったので「活動を継続しよう」ということになりました。現在は、50~80 歳代の 6 人のメンバーが集まり、週 2 回私の自宅で制作活動を続けています。気心の知れたメンバーとおしゃべりをしながら楽しい時間を過ごしています。

“はまぼうのコサージュ”



新和町には日本最大級のはまぼうの群生地があります。「はまぼう祭りが開催されるので、はまぼうの花を作ってみませんか」とお話を頂きました。メンバーで試行錯誤しながらちりめんを使った第 1 号のコサージュが完成しました。現在は、オーガンジーを使ったコサージュに改良し、新和町の小・中学生にも卒業のはなむけにとまちづくり協議会からプレゼントされています。はまぼうの花言葉は「楽しい思い出」です。子どもたちが、はまぼうの群生地のように大きく成長してほしいと願いを込めて作りました。

活動を継続させることが目標！



この活動を始めた頃はたくさんメンバーもいたのですが、一人、二人と減っていました。私は、現在の 6 人が「辞めよう」と言わない限りこの活動を続けて行こうと思っています。そのために、新しい商品の開発や材料の調達等の課題は皆でアイデアを出し合っています。今は、市や町のイベント・夕やけ市・リップルランド、とれたて市場等で販売しています。周囲からは販路を開拓したらという言葉を頂きますが、一度にたくさんの注文がきても一つ一つが手作りなのでメンバーに負担になってしまいます。負担を感じると活動を継続させるのも難しくなってくるので、現状を維持させることを目標にこれからも頑張っていきたいと思います。

連絡先

竹田 恵子

天草市新和町小宮地

9028-9

TEL : 0969-46-2101

地域と共に魅力ある牛深へ

自然豊かな牛深に魅せられて

チャレンジの あゆみ



海が好きで週末は、牛深へスキューバダイビングに来ていた。牛深の海に魅了されて、平成21年、牛深へ移住する。



平成25年度天草市雇用創出・産業振興基金事業で南天草自然体験推進事業を行う。



牛深の自然を生かした観光地域づくり。「天草ビーチコーミング研究会浜遊」で環境を考えるきっかけづくり。

連絡先

天草レストハウス 結乃里
天草市魚貫町 4688-1
TEL: 0969-72-8821



ゆいのさと
天草レストハウス結乃里

代表 武田 昌代 さん

~ Profile ~

宇城市出身。牛深在住。

看護師・ケアマネージャーの資格取得。趣味でやっていたスキューバダイビングが高じてダイビングインストラクターとなる。牛深へ通い始めて10年目に縁あって移住。現在、旅館の仕事をしながら牛深の自然を生かした自然体験型の観光まちづくりに取り組んでいる。



手作り看板でお出迎え



海からの贈り物

「牛深の魅力を活かした地域づくり」

私が牛深に移住してきてすぐ、「魚が採れない、安い・若者、後継ぎがない・熊本から遠い」などという言葉をたくさん聞きました。『牛深には、こんなにきれいな海、温かい人たちがいるのにもったいない!』と思い、どうにか牛深を売り出す方法はないかと考え始めました。今は、牛深の魅力を発信し、交流人口を増やし、外からお金が入ってくる仕組み作りと、地域経済が少しでも潤うような活動に取り組んでいます。

将来的には、豊かな海や山を守りながら、自然体験を中心とする観光業を活性化させることで若い世代の雇用を生み出し、持続可能な地域づくりを行っていきたいです。

「自然と共に生きる」



「地域と共に」

以前からビーチコーミングに興味があり、「天草ビーチコーミング研究会 浜遊」を立ち上げました。ビーチコーミングとは、海からの贈り物である漂着物に目を向け、耳を傾けることです。一見すると何でもない漂着物から、多くのことが伝わってきます。先日、遠い南の島から椰子の実が流れてきました。その表面のキズついた椰子の実を見たとき、流れ着くまでの情景が脳裏に浮かびました。

このような魅力あふれる自然の中で生きていきたいと思いまし、自然を守る活動も行っていきたいと思います。



ウミウシ



イバラカンザシ

たとえば、市場に出せない、出しても値段のつかないような魚や、普段当たり前のように行っている農作業なども、ちょっとした工夫やアイディアで魅力ある“商品”になると思います。そのような隠れた“商品”を見つけ出すためにも、もっと沢山の牛深の方に私たちの活動に関わってもらえればと思っています。

また、その中で、「豊かな自然を大切にしなくては」という想いが生まれてくると思います。研修会を開催すると、毎回参加してくださった漁師さんや地元の方から意見や助言をいただき、元気づけられます。これからも、地域のみなさんと一緒に、牛深の魅力を活かした地域づくりを行っていきたいです。

持ち前の笑顔で 地域をつなぐ

チャレンジの
あゆみ



1999年、(有)ネットステーション設立。



2007年から、河浦町
の民生委員児童委員。
2期7年目



民生委員児童委員と
しては、お節介焼きを
このままつづけていき
たい。

連絡

ネットステーション
河浦町河浦 5183



~ Profile ~

河浦町出身。河浦町在住。

1999年より河浦町の(有)ネットステーション設立。

民生委員児童委員 7年目



地域を見守りつづけて

たなか ゆきこ
田中 由起子 さん



人のつながりを大切に天草の情報を発信



パソコン等のIT機器販売、ホームページ作成を手掛けています。
2011年11月に天草ブログサイト
“かたらんな”を開設しました。今

では月間のべ閲覧数も100万回を超えてます。ブログの管理人さん同志の交流も広がり、年に数回ですがミニバレー大会やオフ会などの親睦会もあり盛り上がっています。これからも“かたらんな”を通じて天草のことをもっと伝えていきたいと思っています。

笑顔で地域を見守る民生委員児童委員として・・・

年々、一人暮らしの高齢者の方が増え、訪問する軒数が多くなりました。最初はあいさつ程度でしたが、何度か訪問するうちに信頼関係もでき、今では月に数回の訪問を心待ちにして下さるようになっています。毎日訪問することができないので、ご近所の方にもご協力いただき、見守り活動を行っています。

“笑顔のおせつかいやき”で、がんばる



ひとり暮らし宅へ訪問



高齢者の皆さんのが自分の親と同世代なので、話す内容は親子の会話のようなものがほとんどですが、訪問すると喜ばれいつも話が弾みます。話をして笑顔になって下さることが私には一番嬉しいことです。高齢化が進む中、若い人たちにもっと地域に関心をもってもらい、横のつながりや声かけが広がることが大切だと思います。

病気をきっかけに人のお役に立ちたいと思い民生委員児童委員を引き受けました。子どもからはお節介はほどほどにと言われますが、夫と義母はそれが私の持ち味だと言ってくれますのでこのまま笑顔で“お節介焼き”で頑張っていこうと思います。



**天草の素晴らしいきくらげを通じて
全国に届けたい！**

**チャレンジの
あゆみ**

平成元年8月に天草市川原新町にて㈲歩産業を設立、代表取締役となる。公共事業を中心に道路舗装工事などを行ってきたが業績が下降する。

きくらげ栽培に興味を持ち、平成23年4月農業部門を設立し有明町にて開業、平成24年1月に認定農家取得する。

平成24年3月に9棟の栽培棟と1棟の乾燥棟が完成。平成24年4月よりきくらげ栽培を開始する。

連絡先

有限会社 歩産業（農業部門）
天草市有明町大浦 3614-1
TEL : 0969 - 54 - 0040
<http://www.ayumikinoko.com>



**建設業から農業分野へ進出
「海辺のきくらげ」栽培**

**有限会社 歩産業
代表取締役 塚本 智子 さん**

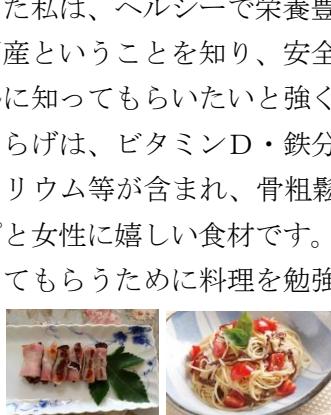
きくらげとの出会い



3人の息子もそれぞれ就職し、家業の建設業の後継ぎもない。そんな時に、上天草市で廃校を利用した「きくらげ栽培」をしているという記事を見つけました。熊本県外の企業ですが、女性社長が経営しているということで、早速視察に行きました。きくらげについて話を聞いていくうちに、自分が探していた何かが見つかった！これだ「きくらげ」だ！と思いました。ちょうど三男が転職で宮崎に行くという時でしたが、東日本大震災で状況が一変し天草へ帰ることになり、三男と一緒に「きくらげ栽培」に踏み出すことになりました。

きくらげは健康食材！

もともと食育に关心のあった私は、ヘルシーで栄養豊富なきくらげの95%が中国産ということを知り、安全な天草産のきくらげを皆さんに知ってもらいたいと強く思うようになりました。きくらげは、ビタミンD・鉄分・カルシウム・食物繊維・カリウム等が含まれ、骨粗鬆症予防・美肌・免疫力アップと女性に嬉しい食材です。現在、もっときくらげを知ってもらうために料理を勉強しながらきくらげを使ったレシピを考え中です。



めざせきくらげ伝道師！



きくらげ栽培の様子

私の夢は、きくらげ伝道師になりきくらげの良さを天草だけではなく日本中に広めるということです。そしてこれが食育につながると思っています。今考えているのは、オリーブオイルと相性がいいのでコラボして天草の活性化につながればと思っています。それと、きくらげだけでやっていくのは難しいので六次産業化を目指しています。現在購入している菌床を天草の海のものを使って作りたい！ミネラルいっぱいの天草ブランドのきくらげを作りたい！近い将来現実化できそうなところまでできているので、目標に向かって頑張っていこうと思っています。

憩いの場所をつくりたい 地域の人気が 氣兼ねなく立ち寄れる

チャレンジの あゆみ

祖母が入院中に受けた介護を見て、「高齢者に対する態度はこうではない」と思い、介護関係の資格を取得する。介護施設や病院等で介護の仕事に就く。

妹が設立した通所介護施設に勤務。4年後方向性の違いで独立。新和町にてNPO法人歩実の会を設立し代表となる。

通所介護・居宅介護支援・子どもの一時預かり・学童保育・高齢者の孤立防止と自立支援の事業の他に、新たに『地域ふれあいホーム事業』の取り組みを始める。

連絡先

NPO 法人歩実の会
デイサービスセンターひのわ
天草市新和町中田 2270
TEL : 0969 - 46 - 2350



地域の方との関係を大切にしながら
デイサービスセンターひのわを運営

NPO法人歩実の会
代表 磨田 富美香 さん

~ Profile ~

久玉町出身。亀場町在住。幼稚園教諭の仕事に就く。結婚後、保育園に勤務しながら保育士の資格を取得し、保育士として12年間勤務。祖母の介護をきっかけにヘルパー・介護福祉士、ケアマネージャーの資格を取得。妹が設立した通所介護施設に勤務。その後、独立してNPO法人歩実の会を新和町の中田に設立し代表を務める。



NPOの設立～子どもたちを救いたい～

もともと牛深で妹とデイサービスを運営していました。働きたい女性にとって「子どもたちの行き場がない」という状況であることを知り、子どもたちを救いたいという思いで独立し、NPO法人歩実の会を設立しました。子どもたちを保育しながら高齢者支援もできればと設立前は思っていましたが、現在は中田地区の子どもさんの数が減少したので、保育も学童も一時預かりがほとんどで高齢者支援が主になっています。

新たな事業 地域ふれあいホーム



利用者の方が作成したウェルカム人形



現在、デイサービスの他に居宅介護支援事業と子どもたちの一時預かり、学童保育と平成23年度より高齢者の孤立防止と自立支援事業を受託し、食生活のサポート・買い物代行サービス・地域のパトロール事業をしています。そして、平成25年度より地域の縁がわ彩り事業で「地域ふれあいホーム」という新しい事業に取り組みました。施設の名前は「はなのさと」です。はなのさとが、高齢者も障がい者も、子どもも子育てしている方もみんなの笑顔が集まる場所・地域の憩いの場所になるようスタッフと一緒に頑張りたいと思っています。

叶えたい夢 小規模多機能ホーム



地域ふれあいホーム「はなのさと」の近くに、地域密着型の小規模多機能ホームをつくることが次の目標です。デイサービスセンター「ひのわ」と、地域ふれあいホーム「はなのさと」そして、小規模多機能ホームの一つ一つの施設が、全て一か所に集まることで、利用者同士の交流やスタッフの交流もしやすくなり、何より私の「一人一人を大切に」という思いが全ての施設に行き届きます。利用者の方やご家族から信頼して頂ける介護を提供できるような小規模多機能ホーム。この夢をぜひ叶えたいと思っています。

子どもたちが 楽しく活動できる 学童教室をめざして！

チャレンジの あゆみ



小学校教師の仕事と3人の子育てをしながら、10年ほど前から働く皆さんのために何か手伝いができるないかと考えていた。



3年前に本渡南小学校の近くに場所が見つかり、これまでの仕事を生かして学童教室を開設する決心をした。



平成25年3月に退職をし、小さな塾と学童を始めた。

平成26年4月から本格的に「学童トライアングル」をスタートする。

連絡先

学童トライアングル
天草市川原町8-33
携帯：080-5201-9911



学童トライアングル

代表 富崎 ますみ さん

~Profile~

佐伊津町出身。亀場町在住。

天草の小学校7校で、計29年間教師を勤めた。

2013年3月に退職し、学童トライアングル開設の準備に取り組む。



平成26年1月 完成



学童クラブを始めるきっかけ

共働きをしていると、夜は食事とお風呂、明日の準備などに精一杯で、ゆっくりと過ごせるのは子どもが保育園の頃まででした。小学校へ上がる頃は自分の仕事が忙しくなり、子どもの世話までなかなか手が届かず、何ごとも本人任せでした。きっと担任の先生方に迷惑をかけたことでしょう。教師でありながら、我が子の子育てにあまり関わっていないかった育てていなかったと反省しています。このような子育てを振り返り、今子育て中の皆さんの手伝いが何かできないかと考えたのが、これまでの仕事を生かした学童教室です。



こんな学童教室をめざして

私の家族

目指すは、“楽しい学童教室”です。そのためには次の方針を持って取り組んでいきます。



- 1 安心・安全な環境を確保する。
- 2 楽しい中にルールを守り、友だちと仲良く過ごせる場所にする。
- 3 子育てのお手伝いをする。
- 4 地域のよさを発見させる。
- 5 学習への対応をする。

子どもたちは自分で工夫して遊ぶことが上手です。



そんな遊びを大切にする場にしたいと考えています。

子どもたちが生き生きと活動している姿を見るのが楽しみなのです。

体が続く限り、子どもたちと過ごせるように

「学童トライアングル」は、子どもと保護者の皆さんと私（スタッフ）三者のつながりを願い、新しいことに「トライ」する意味を込め学童の名前に決めました。スタッフは、私以外に2名の看護師の資格を持った方をお願いしています。それぞれ子ども3人の子育て中でもありますので、保護者の皆様の気持ちに寄り添うことができるよう努力したいと考えています。これから私の体が続く限り子どもたちと過ごせたら幸せです。そのために体力作りと健康には気をつけながら頑張っていきます。学校でもなく家でもないところで私にできることをやっていきたいと思います。



野外活動や体験活動